「阪神高速 へのチャレンジプロジェクト」第２回助成申請書

様式２　※Wordデータで提出してください（必須）。

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |
| 団体ホームページ |  |
| 団体設立年月 | 西暦　　　　　　年　　　　月　設立 |

１．申請事業の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称 |  |
| 助成申請額※最大５０万円 | 　　　　　万円 | テーマ※最も該当するテーマを１つ選んでください。 | □ 安全・安心なまちづくり□ 持続可能な環境づくり□ 次世代を担う人づくり |
| 実施地域 | □ 大阪市、□ 池田市、□ 豊中市、□ 守口市、□ 東大阪市、□ 松原市、□ 堺市、□ 高石市、□ 泉大津市、□ 忠岡町、□ 岸和田市、□ 貝塚市、□ 泉佐野市□ 神戸市、□ 尼崎市、□ 西宮市、□ 芦屋市、□ 川西市、□ 伊丹市□ その他の地域（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

①申請事業の概要（１００字以内）

|  |
| --- |
|  |

②申請事業の目的（３００字程度）

|  |
| --- |
|  |

③申請事業の具体的な事業プラン

※社会の課題やニーズを述べたうえで将来のありたい姿を明確にし、そのありたい姿を目指すために、当該助成期間に実施する具体的な事業内容、目標や見込まれる効果、助成期間終了後の事業継続の見込みなどを記載してください。また、SDGsの目標（17目標）との関連についても必ず記載してください。

※図表を使っていただいても構いません。記載方法は自由ですが、上記に示した内容をそれぞれわかりやすく記載してください。

※主に募集要項P5の５．選考基準の①整合性、②社会の課題やニーズの明確性、③実現可能性、⑤事業の継続発展性の評価対象となります。

|  |
| --- |
|  |

④事業の実施スケジュール

※主に募集要項P5の５．選考基準の③実現可能性の評価対象となります。

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | 内容 |
|  |  |

⑤申請事業に関する創意工夫やチャレンジなどのポイント

※主に募集要項P5の５．選考基準の④創造性の評価対象となります。

|  |
| --- |
|  |

⑥阪神高速グループもしくは他団体との事業連携の可能性

※主に募集要項P5の５．選考基準の⑤事業の継続発展性の評価対象となります。

|  |
| --- |
|  |

⑦予算計画　※収入総額と支出総額は同額にしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 収入 | 種類 | 摘要（内訳・算出根拠） | 金額（円） |
| 本助成・申請額 |  |  |
| 事業収入（参加費等） |  |  |
| 自己資金 |  |  |
| 収入総額 ※支出総額と同額 |  |
| 支出 | 科目 | 摘要（内訳・算出根拠） | 金額（円） |
| 人件費 |  |  |
| 賃借料 |  |  |
| 物品購入費 |  |  |
| 印刷費 |  |  |
| 通信費 |  |  |
| 交通費 |  |  |
| 謝礼金 |  |  |
| その他 |  |  |
| 支出総額　※収入総額と同額 |  |

３．申請団体の概要

①団体の設立経緯、および目的

|  |
| --- |
|  |

②２０２１年度の主な活動実績

|  |
| --- |
| ・・・・・ |

③今までに受けた助成金、主な受賞歴

|  |
| --- |
|  |

助成申請書の提出締め切りは、２０２２年４月２０日（水）１７時です（締切日必着）。